

群馬県の畜産業の産出額は全国8位

- 2016年の群馬県における畜産業の農業産出額は1124億円で、都道府県別にみると全国8位である（図表1）。産出額1000億円以上が群馬県を含めて9道県あり、合わせると全国の60.5%を占める。
- 産出額を上位からみると、1位の北海道が6986億円、構成比で全国の21.5%を占め圧倒的な存在感がある。次いで2位鹿児島県、3位宮崎県に加え7位に熊本県が入るなど、九州は北海道と並んで畜産業が盛んな地域である。4位は岩手県で、東北地方では唯一畜産の産出額が1000億円を超える県となっている。関東地方で1000億円を超えるのは千葉、茨城、群馬、栃木の4県で、大消費地東京を取り囲むように畜産業が盛んである。
- 畜産業が農業全体に占める割合をみると、群馬県は42.7%と全国平均（34.8%）を上回っている（図表2）。
- 畜産業の産出額の内訳をみると、群馬県は「生乳(せいにゅう)」が23.1%、「肉用牛(にくようぎゅう)」が13.6%、「豚(ぶた)」が38.3%、「鶏(にわとり)」が18.7%となっている（図表3）。群馬県は全国に比べ「豚」の割合が高く、「肉用牛」と「鶏」の割合が低い。

図表1 畜産業の農業産出額
(都道府県別、2016年)

順位	都道府県	産出額 (億円)	構成比 (%)
1	北海道	6,986	21.5
2	鹿児島	2,958	9.1
3	宮崎	2,206	6.8
4	岩手	1,578	4.9
5	千葉	1,354	4.2
6	茨城	1,257	3.9
7	熊本	1,141	3.5
8	群馬	1,124	3.5
9	栃木	1,020	3.1
10	青森	918	2.8
	全国	32,424	100.0

図表2 農業における畜産業の規模（2016年）

		畜産	米	野菜	果実	その他	合計
群馬県	産出額(億円)	1,124	152	1,070	95	191	2,632
	割合(%)	42.7	5.8	40.7	3.6	7.3	100.0
全国	産出額(億円)	32,424	16,579	25,567	8,333	10,148	93,051
	割合(%)	34.8	17.8	27.5	9.0	10.9	100.0

図表3 畜産業の産出額の内訳（2016年）

		生乳	肉用牛	豚	鶏	その他	合計
群馬県	産出額(億円)	260	153	430	210	71	1,124
	割合(%)	23.1	13.6	38.3	18.7	6.3	100.0
全国	産出額(億円)	7,406	7,334	6,162	9,144	2,378	32,424
	割合(%)	22.8	22.6	19.0	28.2	7.3	100.0

【一口メモ】

- 「農業産出額」は農産物の生産量に価格を乗じて算出し、企業会計でいう「売上高」に近いもの。
- 「生乳」とは、搾ったままの乳のこと。この「生乳」から「飲用牛乳」や「バター」、「チーズ」、「ヨーグルト」などの乳製品が造られる。
- 「鶏」は「ブロイラー」と「鶏卵」を含む。

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

(担当：小此木伸一)